

令和4年度 「西柴コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書  
(2023. 3.1~3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	1,317,000		1,317,000	1,317,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>1,317,000</b>	<b>0</b>	<b>1,317,000</b>	<b>1,317,000</b>	<b>0</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>322,704</b>	<b>0</b>	<b>322,704</b>	<b>322,704</b>	<b>0</b>	
給与・賃金	273,104		273,104	273,104	0	施設長1名 常勤時給職員1名 非常勤時給職員2名
社会保険料	34,853		34,853	34,853	0	
通勤手当	14,640		14,640	14,640	0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金	107		107	107	0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
<b>事務費</b>	<b>635,682</b>	<b>0</b>	<b>635,682</b>	<b>635,682</b>	<b>0</b>	
旅費			0		0	
消耗品費	335,600		335,600	335,600	0	
会議ठीい費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費			0		0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	300,082		300,082	300,082	0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
<b>事業費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費			0		0	
<b>管理費</b>	<b>66,344</b>	<b>0</b>	<b>66,344</b>	<b>66,344</b>	<b>0</b>	日常・定期清掃費 光熱水費（ケアプラザとの按分）
光熱水費	55,644	0	55,644	55,644	0	
電気料金	55,644	0	55,644	55,644	0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	3,300	0	3,300	3,300	0	
修繕費			0		0	
機械警備費	7,400	0	7,400	7,400	0	機械警備費 6,250 AED 1,150(ケアプラザとの按分)
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
<b>公租公課</b>	<b>32,270</b>	<b>0</b>	<b>32,270</b>	<b>32,270</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	32,270	0	32,270	32,270	0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>260,000</b>	<b>0</b>	<b>260,000</b>	<b>260,000</b>	<b>0</b>	
本部分			0		0	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	260,000	0	260,000	260,000	0	
<b>二一ス対応費</b>			<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>1,317,000</b>	<b>0</b>	<b>1,317,000</b>	<b>1,317,000</b>	<b>0</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	
管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	

## 令和4年度 利用状況(団体+個人利用)

月別	開館日数 (日)	入館者数(人)			利用層別利用数(人)										前年度 合計(B)	前年比(%) A/B	
		男性	女性	合計(A)	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	一般 (男性)	一般 (女性)	65歳以上 (男性)	65歳以上 (女性)	合 計			
4月																	
5月																	
6月																	
7月																	
8月																	
9月																	
上半期計																	
10月																	
11月																	
12月																	
1月																	
2月																	
3月	30	80	63	143	0	0	0	0	0	30	33	50	30	143			
下半期計	30	80	63	143	0	0	0	0	0	30	33	50	30	143			
年間合計	30	80	63	143	0	0	0	0	0	30	33	50	30	143			

月別	居住区別利用数(人)				その他利用数		
	区内	区外	市外	合 計	体育室 (人)	レクホール (人)	図書貸出 冊 数
4月				0			
5月				0			
6月				0			
7月				0			
8月				0			
9月				0			
上半期計	0	0	0	0	0	0	0
10月				0			
11月				0			
12月				0			
1月				0			
2月				0			
3月	140	3		143	0	0	0
下半期計	140	3	0	143	0	0	0
年間合計	140	3	0	143	0	0	0



















目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組	自己評価
基本方針	福祉におけるプロフェッショナルとして、知識・誠意・情熱をもってお客さまの安全と地域ニーズを最優先とした運営を目指します。また、地域のだれもが住み慣れた自宅で最後まで安心して暮らせるよう地域と連携し包括ケアシステムの構築を目指します。	新規開所施設の為、サロンや地域の集まりに積極的に参加し、地域の方と顔の見える関係の構築に努めました。また、地域ニーズに沿った事業を開催するため、来館者にアンケートをお願いしました。安全対策については、館内全室に避難経路等の掲示を示し、また事業開催の際は、説明を行い安心して利用できる環境を整えました。	西柴コミュニティハウスを地域に利用してもらえるよう広報誌等を作成し周知していきます。	A
運営方針	①公の施設としての管理 公正かつ適正な利用上のルールやマナーを周知し利用者の信頼を得る、また、接遇の公平性を確保します。 ②利用者ニーズの把握と運営への反映 地域及び利用者団体等から構成される「貸館交流会」や「ご意見箱」より利用者からの直接のご意見やアンケート等で利用者のニーズを把握し運営に反映します。 ③安全対策 毎月1回事故防止委員会を開きます。ヒヤリ・ハット改善提案書」を活用し事故を未然に防ぎます。また2回は、避難訓練を行い急な災害時でも迷わず迅速に動けるよう徹底します。	①公の施設として公正なルールをつくり利用者の信頼を得るように努めました。 ②利用者ニーズに沿った事業を開催するために館内利用者さまにアンケートを実施しました。 ③安全対策については、事故防止委員会を開き、事故を未然に防ぐ為、ヒヤリ・ハット改善提案書を活用しました。	引き続き公の施設として地域ニーズに沿った事業を開催し、公正かつ適正なルールにて管理してまいります。また安全対策についてもヒヤリハット改善提案書を活用し事故を未然に防ぐ事を徹底致します。	B
事業運営	①自主事業 高齢者が参加しやすい介護予防体操・子育て支援事業や障がいのある方も参加できる事業を計画します。 ②利用者サービスの向上の取組 時代に沿った提案として1人でも気軽に参加できるワークショップを開催しますまた、視覚・聴覚に障害がある方も情報が伝わる音声ブラウザソフト等を利用し楽しんで頂きます。	①高齢者が参加しやすい介護予防体操等の事業を企画し4月より開催できる計画しました。 ②時代に沿った1人でも気軽に参加できるワークショップを企画し4月より開催できるよう計画しました。	自主事業については、地域ニーズに沿った多種多様な事業を開催して参ります。	B
職員育成	ご利用者さまは、すべて「お客さま」として認識し、安心と快適そしてお客さまの心の満足を目指しています。また新任職員は、5日間の思いやり研修を受けていただき、プロフェッショナルとしての自覚を身につけます。接遇フォローアップ研修年1回、内部研修と6S研修（作法・整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を学びます。	新規開所施設の為、新人職員に対し接遇研修を行い、プロフェッショナルとしての自覚を身につけて貰いました。また、法人独自の6S研修を行い接遇についても学びました。	館内ご利用者さまに対して、職員1人1人がプロフェッショナルとして学んだ研修を活かして参ります。	A
利用者等のご意見	利用者から寄せられた意見・要望	今後の取組		
	<p>常設のご意見箱の設置とご利用者さまアンケート実施。</p> <p>高齢者を対象とした健康体操等の事業開催希望の意見が寄せられた。この意見に応え高齢者が参加しやすい介護予防 益踊り教室やヨガ教室、健康ストレッチ教室を企画した。</p>	<p>ご利用者さまが、より意見を寄せやすい環境を整え、頂いたご意見をしっかり反映させていただきます。</p>		

《自己評価》

A : 計画、目標を上回って実施

B : 計画、目標を保持して実施

C : 計画、目標を下回って実施

※「利用者の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組【改善計画】欄に意見等に対する対応を記載